

ZERO CARBON CITY NAGASAKI NEWS Vol.1

- 居留地からはじめよう「脱炭素化」 -

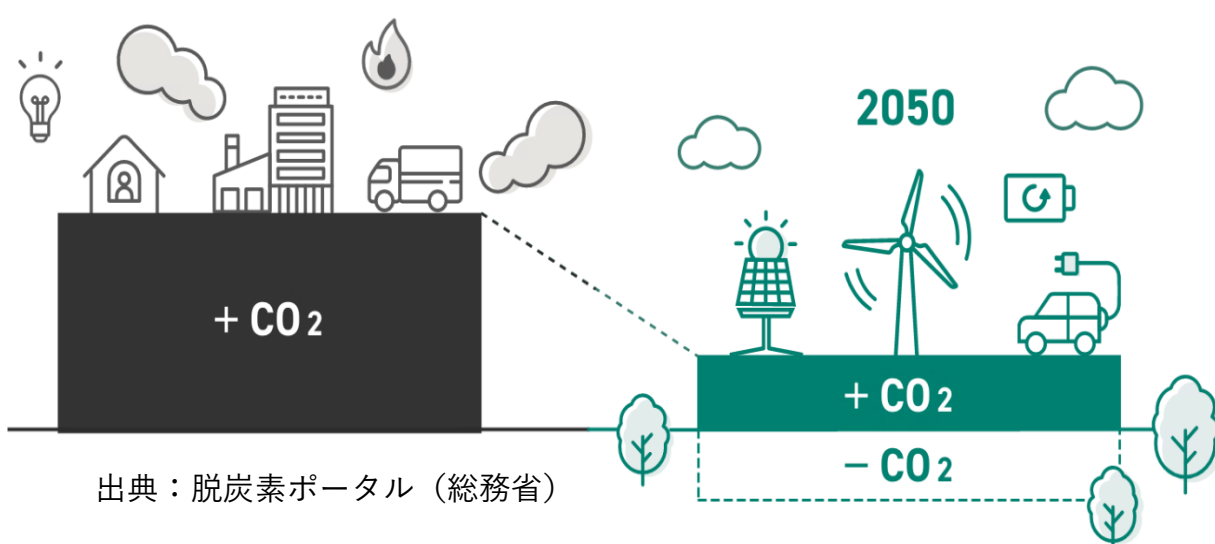


サステナブルな観光へ 脱炭素先行地域に県内初認定

国が2030年度までに先行して二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「脱炭素先行地域」に、昨年、認定されました。

長崎市では、伝統的建造物が並ぶ東山手や南山手、そして稲佐山からの夜景に関連する施設がその対象エリアとなっています。

住む人にとっても訪れる人にとっても、サステナブルな環境にやさしい「まち」として、更なる魅力向上を目指していきます。



\\ ゼロカーボンシティ長崎 宣言中 //

2050年までに脱炭素化を

地球温暖化の影響で、長崎市の平均気温は年々上昇しており、自然災害などのリスクが高まっています。長崎市では、2050年度までに温室効果ガスの排出量を80%削減することを目標としています。



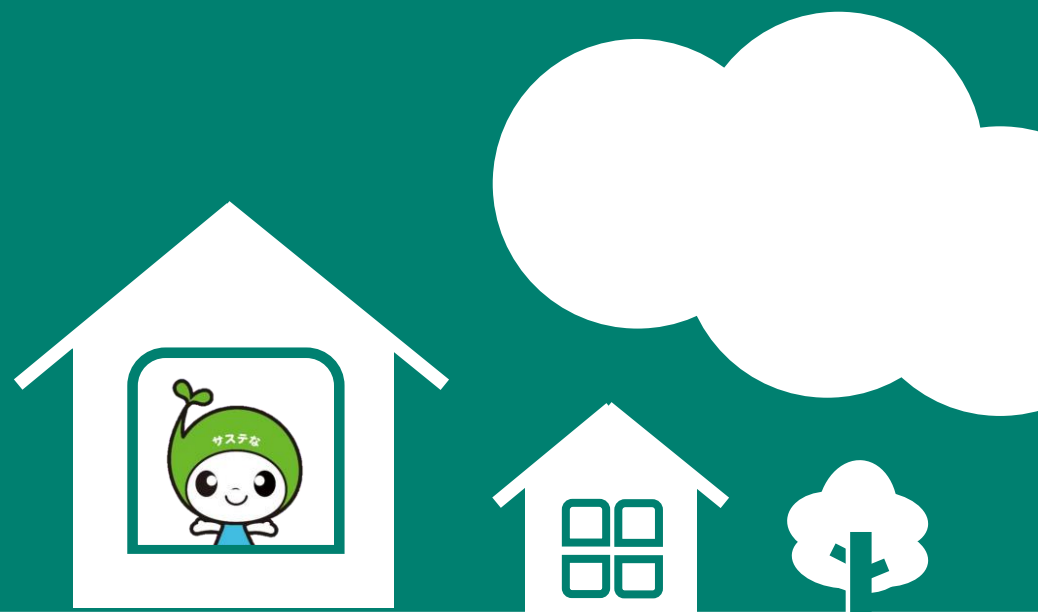
脱炭素化

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を「実質ゼロ」にすること。上の図のように、日常で発生する二酸化炭素などの「排出量」と、森や木などが吸収する「吸収量」を均等にさせることです。



脱炭素の実現で変わること

居留地を中心とした家庭・民間事業者が排出する二酸化炭素の量を実質ゼロになるように取り組みを進めます。ゼロカーボンシティの取り組みを進めることで、環境にやさしいまちを目指します。



1

暮らし環境の充実

- ・高効率な空調や照明の変更等による快適な生活環境と夜も安全な暮らしの実現など

2

活動・営みの活性化 持続性の担保

- ・サステナブルツーリズムの普及による観光の活性化
- ・公共交通機関の利便性向上など

3

地域資源の価値向上

- ・省エネ化、再エネ化による歴史的建造物の魅力向上
- ・斜面市街地の空き地活用など

4

地域ブランディング

- ・持続可能な暮らしやすい「まち」として発信
- ・「歴史文化」×「夜景観光」×「環境」が融合した「まち」として発信

わたしからできるゼロカーボン さまざまな取り組みを行っています

補助金事業

太陽光パネルや蓄電池の設置、電気自動車の購入などに対して、補助金の制度を設けています。



ながさきエコライフ・フェスタ

みんなで楽しくエコについて学んだり、体験することができるイベントを開催しています。

エネルギーの地産地消

再生可能エネルギーの地産地消による二酸化炭素削減と地域内資金循環に貢献しています。



(株) ながさきサステナエナジー

優良事例の紹介

市民による環境行動や環境イベントなどをポータルサイト内で紹介します。

